

沖縄県外来種対策行動計画に基づく
コウライキジ 防除計画

令和2年3月

沖 縄 県

1 背景と目的

コウライキジは、中国南東部・朝鮮半島原産のキジ科の鳥類で、県内へ狩猟目的で放鳥された個体が野生化したと考えられており、伊是名島や石垣島などの草地などに侵入・定着しています。地上採食の鳥類との競合が懸念されています。

沖縄県では、沖縄県内に定着しており、生態系への影響が大きいことから重点的に駆除等の防除を実施する必要がある外来種を「重点対策種」として指定しています。コウライキジはヤンバルクイナやミフウズラなどの地上採食の鳥との競合が懸念されることや農業被害が拡大していることから、重点対策種に指定されています。本防除方針は、コウライキジによる生態系等への影響を軽減するための目標や方法等を示すものです。

2 概要

(1) 和名等

キジ目キジ科

コウライキジ (学名 *Phasianus colchicus karpowi*)

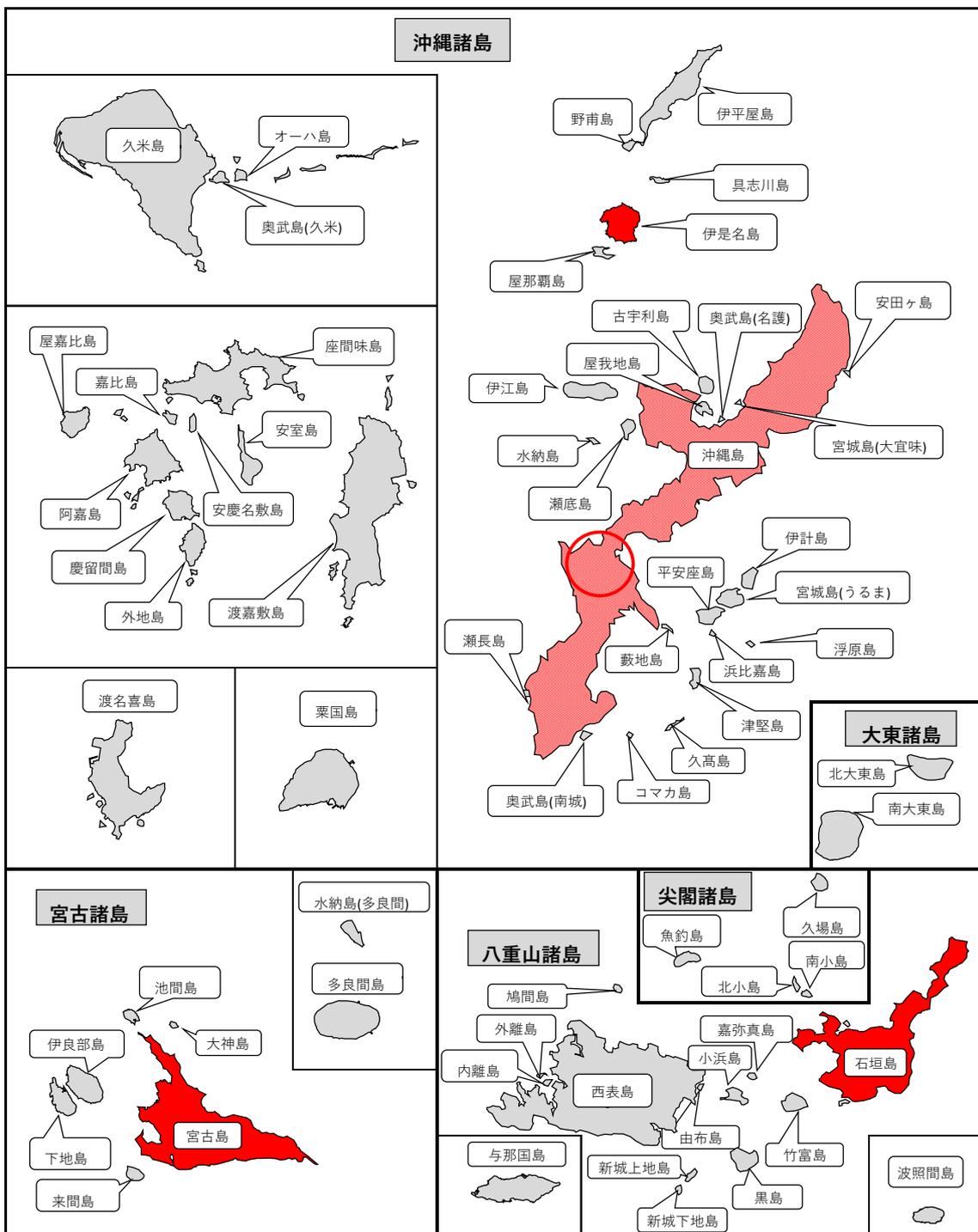
※コウライキジは、キジの中国南東部・朝鮮半島原産の一亜種です。

(2) 分布

原産地：中国南東部・朝鮮半島

県内の分布確認状況：沖縄島、伊是名島、宮古島、石垣島

(北大東島で確認されているキジは、本州から九州に自然分布する亜種と考えられています)



コウライキジの生息が確認されている島

赤色で塗った島は生息が確認されている島を示す。面積の広い沖縄島は、主な生息域を赤丸で示す。

(3) 形態・生態

雄は全長 80cm 程度で、顔から首にかけて暗緑色で金属光沢があり、目のまわりには赤色の皮膚が裸出し、背や脇腹は黄色みのある褐色です。首に明瞭な白い輪がある点で、本州から九州に生息するキジとの識別が可能です。ただし、沖縄ではキジも外来種となります。雌は全長 60cm 程度で、全体的に黄色みのある褐色の地に黒褐色の斑紋があります。低地にすみ、草原を好みます。食性は、果実や種子を食べます。産卵期は 5 月～6 月、一腹卵数は 6～10 個です。



写真提供：嵩原建二 氏

コウライキジの雄（左）と雌（右）

3 指定の状況

特定外来生物	—
我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト	その他の総合対策外来種
日本の侵略的外来種ワースト 100	○
世界の侵略的外来種ワースト 100	—

4 生態系等への影響

果実や種子を食べるため、ヤンバルクイナやミフウズラなどの地上採食の鳥類との競合が懸念されています。また、石垣市や伊是名村では農業被害が見られるため、有害鳥獣捕獲が実施されています。

5 目標

沖縄県外来種対策行動計画に基づく防除目標のカテゴリー

→ **目標D 拡散の防止** (やんばる地域への拡散防止)

◎ やんばる地域へのコウライキジの侵入防止及び定着地域での農業被害や生態系影響の低減

やんばる地域にはコウライキジとの競合が懸念されているヤンバルクイナなど希少生物が生息しています。これらの生物に対する影響を防ぐため、コウライキジのやんばる地域への侵入を防ぐことを目標にします。

また、既に侵入している地域では、農業被害や生態系影響の大きい地域で対策を実施し、影響を低減させます。

6 対策の方針

(1) 沖縄島北部への侵入監視、初期防除

コウライキジは既に沖縄島の読谷村や恩納村で確認されており、生息域や個体数の増加が指摘されています。しかしながら、沖縄島におけるコウライキジの分布の北限ラインは不明です。

読谷村、恩納村、金武町以北で任意踏査等の調査や県民等からの情報収集を行い、沖縄島におけるコウライキジの分布域を把握します。読谷村や恩納村でコウライキジの生息密度が上昇したり、名護市など現在知られている分布域よりやんばる地域に近い場所で確認された場合、銃器等によるコウライキジの捕獲を行い、やんばる地域への侵入を防ぎます。

(2) 定着地域における生態系影響や農業被害の低減

伊是名島及び石垣島では、コウライキジによる農作物被害を防止する目的で有害鳥獣捕獲が実施されており、沖縄県としても関係機関と連携して取り組みます。ま

た、これらの捕獲データを活用してコウライキジの分布域を把握し、生態系影響が懸念される地域を検討し、必要に応じて捕獲等の対策を講じます。

(3) 未定着地域での対策

コウライキジの侵入は狩猟用やバツタ類の駆除などのために意図的に放鳥されたことが原因です。現在、鳥獣保護管理事業計画において、原則として沖縄県では放鳥を行わないように指導しており、関係機関と連携して普及啓発に取り組めます。

また、コウライキジが未定着の島で生息が確認された場合、農業被害や生態系被害を防止するため、侵入初期段階で対策を検討します。

(4) 普及啓発

ホームページ、イベント、チラシ配布等を通して防除の目的等を県民へ周知するとともに、生息情報の収集や捕獲に向けた協力などが得られるよう、関係機関とも協力して取り組めます。

(5) 捕獲手法等の検討

効果的な防除を実施するため、新たに得られた知見や技術、有識者等の意見を踏まえて捕獲手法等の検討を行います。

目標カテゴリ-D：拡散の防止（やんばる地域への拡散防止）

目標：やんばる地域へのコウライキジの侵入防止及び定着地域での農業被害や生態系影響の低減

対策の方針	実施項目	期間	実施地域	実施内容
沖縄島北部への侵入監視、初期防除	北限ラインの把握	短期～長期	読谷村、恩納村、金武町	読谷村、恩納村、金武町において任意踏査等の調査や県民等から情報を収集し、コウライキジの生息状況を把握する
	北上の防止	短期～長期	読谷村、恩納村、金武町	生息域や個体数の拡大などが確認された場合、銃器等による捕獲を実施する
定着地域における生態系影響や農業被害の低減	生息域の把握	短期～長期	沖縄島、伊是名島、宮古島、石垣島	鳥獣捕獲データや、任意踏査等の調査、県民からの情報収集によって、コウライキジの生息状況を把握する
	密度低減	短期～長期	沖縄島、伊是名島、宮古島、石垣島	農業被害や生態系被害が懸念される地域で市町村と連携して捕獲を実施し、密度低減を図る
未定着地域での対策	普及啓発	短期～長期	沖縄県内（定着域を除く）	関係団体を通じて、コウライキジを含む外来鳥獣の放鳥を行わないことを周知する
	侵入監視	短期～長期	同上	未定着の島でのコウライキジの侵入情報を把握するために、県民等から情報を収集する
	初期対応		同上	未定着の島へ侵入が確認された場合、銃器等による集中的な捕獲を実施する
	再侵入の防止		同上	侵入経路を可能な限り特定し、その対策を実施する
普及啓発	県民等への普及啓発	短期～長期	沖縄県内	広報誌やホームページ、小冊子の配布等を通して広く県民へ普及啓発を実施し、理解や協力が得られるよう、関係機関と協力して取り組む。
捕獲手法等の検討	効果的な捕獲手法等の検討	短期～長期	-	新たに得られた知見や技術、有識者等の意見を踏まえて捕獲手法等を検討する

短期は概ね3年目までの期間、長期は概ね4年目以降の期間

7 実施体制

効果的かつ効率的な対策のため、以下のような体制を目指し、関係機関と連携します。

- やんばる地域での監視：沖縄県環境部、（環境省、市町村）
- 定着地域での対策：沖縄県環境部及び農林水産部、（環境省、市町村）
- 未定着地域での対策：沖縄県環境部、（環境省、市町村）

8 防除方法

石垣島や伊是名島などで行われている農作物の被害低減を目的とした有害鳥獣捕獲では、銃器や箱わなを用いた捕獲が実施されています。

現状では、既存の手法を用いて捕獲を実施することとなりますが、より効果的かつ効率的な防除手法については、生息状況や生態系等への影響を踏まえつつ、今後検討していきます。

9 防除事例の紹介

(1) 石垣島（石垣市）

石垣市ではパインやさとうきび等の農作物に深刻な被害を与えていることから、有害鳥獣としてキジが捕獲されています。平成 22～28 年度の間で最も多い年で年間 1,382 個体（平成 25 年度）のキジが捕獲されています。

(2) 伊是名島（伊是名村）

伊是名島ではコウライキジの個体数を減らす対策として、銃器を用いた捕獲の他、JA と協力して 1 個 150 円で卵の買取が実施されています。

10 防除計画の見直し

当該防除計画は 3 年目に中間評価を行い、5 年目に見直しを行います。なお、対策上必要があると認められる場合は、随時見直しを行うものとします。